

教育学入門 I

科目ナンバリング EDU-101
必修 2単位

福島 健介

1. 授業の概要(ねらい)

教育学は教員を養成するための学問と思われるかもしれませんが、それだけではありません。学校だけではなく、家庭や社会、さらには企業などにおける教育について、また、子ども、人間について広く学ぶ学問です。本学部では、教員養成・保育者養成を中心としながらも、幅広く教育について学び、それぞれの分野の教育の専門家を養成することを目指しています。

本科目では、1年配当必修科目として、教育学部で学ぶ教育学とは何か、また教育学部で学ぶことのできる教育学の諸分野についてその概要と魅力を、各分野専門の教員が講義していきます。そのため、講義は概ね2回の講義で1主題について扱っていくことになります。この講義を通じて、教育学部で何を学んでいきたいのかを考え、自分の追究したい主題を発見していただきたいと考えています。

2. 授業の到達目標

- ① 広く教育学の諸分野について学び、教育とは何か考える。
- ② これまでの「学び」をふりかえり、これからの教育学部での「学び」及び自身が今後追及していきたい教育の課題・テーマ等についての概要と可能性について考える。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の講義で示される課題の得点、講演会への参加・最終回でのまとめの課題等で総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
帝京大学初等教育研究会 小学校教師の専門性育成 現代図書

5. 準備学修の内容

教科書は早めに入手し、一通り目を通しておくようにして下さい。

- ① 講義内で紹介された参考文献を積極的に入手して読んで下さい。

② 帝京大学図書館(MELIC)Webサイトのトップページにある「先生の本棚」、教育学部・教職大学院教員推薦図書リストから先生方が勧める本を積極的に読み、教育の幅広い分野について知識や考えを深めていって下さい。

6. その他履修上の注意事項

高校までと違って人数の多い教室で、毎回のように異なる先生の講義を聴くことになりますので戸惑うかもしれませんが、各主題の講義から、本学部でどのようなことを学んでいきたいのか視野を広げて考えて下さい。ほぼ毎回、授業終了時にコメントペーパーの提出が求められます。短時間で的確に自身の考察を書く訓練も必要となります。

7. 授業内容

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション
教育学を学ぶことの意味と、今後4年間の展望 |
| 【第2回】 | 学校教育学
今、学校教育で期待されていること |
| 【第3回】 | 学校教育学・人権教育
学校における人権教育について |
| 【第4回】 | 教育学入門(LMS予定)
教育学に求められるもの |
| 【第5回】 | 保育・幼児教育学
保育の中の人間関係を考える |
| 【第6回】 | 保育・幼児教育学
幼児期の「学び」とは |
| 【第7回】 | 生涯学習学
ある自治体の取り組みに注目して |
| 【第8回】 | 生涯学習学
大人の学習から地域と教育を考える |
| 【第9回】 | 特別支援教育
新学習指導要領の観点と合理的配慮 |
| 【第10回】 | 特別支援教育
制度と特別支援学校の特徴 |
| 【第11回】 | 多文化教育・日本語教育学
日本語が分からない児童 生徒への対応 |
| 【第12回】 | 多文化教育・日本語教育学
多文化教育成立の背景と実践 |
| 【第13回】 | 教育心理学
心理学とは？・教育心理学とは？ |
| 【第14回】 | 教育心理学
子ども理解から教育支援を考える |
| 【第15回】 | まとめ
振り返りの課題レポート |